

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月25日

計画の名称	バリアフリー環境整備と安全・安心・快適なまちづくり（その2）												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												
交付対象	足立区, 国分寺市, 三鷹市												
計画の目標	整備対象区域全域を対象とする全体バリアフリー基本構想を策定後、重点整備地区ごとに基本構想を策定する。各基本構想に基づき、各地方公共団体、公共交通事業者等の各事業者の役割分担及び整備目標を明確にし、重点整備地区内のバリアフリー化整備を進めることで、安全・安心・快適なまちづくりを図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	204	A	204	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	基本構想の策定によりバリアフリー化を推進する区域の面積を拡大する。 整備対象区域に対する基本構想の策定によりバリアフリー化を推進する区域の面積の割合 (重点整備地区ごとに策定した基本構想の区域面積の合計)/(当該地方公共団体の面積)（小数点第一位を四捨五入）	6%	%	15%
2	重点整備地区ごとのバリアフリー基本構想を策定後、地区内における生活関連経路の道路特定事業によるバリアフリー整備率を向上させる。 重点整備地区における生活関連経路の道路特定事業による整備率（段差解消、誘導ブロック設置等のバリアフリー整備） ※重点整備地区の基本構想策定後、現況値及び目標値を設定する（仮で現況値・目標値ともに“0”と記載）。	0%	%	0%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	足立区	直接	足立区	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	足立区バリアフリー基本構想の策定（地区別）	足立区	■	■	■	■	■	111	—	—	
	備考																			
	A16-002	住宅	一般	国分寺市	直接	国分寺市	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	国分寺市バリアフリー基本構想の策定（全体・地区別）	国分寺市	■	■					12	—	—
	備考																			
	A16-003	住宅	一般	足立区	間接	足立区	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	江北周辺地区移動システム等の整備	江北周辺地区		■					5	0.6	—
	バリアフリー施設等整備は、移動制約者に対して良好な移動環境を提供する社会的配慮に基づく事業であり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。																			
A16-004	住宅	一般	足立区	間接	足立区	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	バリアフリー基本構想策定地区内における移動システム等の整備	足立区内の基本構想策定地域				■			22	0.1	—	
バリアフリー施設等整備は、移動制約者に対して良好な移動環境を提供する社会的配慮に基づく事業であり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。																				
A16-005	住宅	一般	足立区	間接	足立区	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	バリアフリー基本構想策定地区内の既存ストックバリアフリー改修	足立区			■	■	■		48	0.1	—	
バリアフリー施設等整備は、移動制約者に対して良好な移動環境を提供する社会的配慮に基づく事業であり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。																				
A16-006	住宅	一般	三鷹市	直接	三鷹市	—	—	バリアフリー環境整備促進事業	三鷹市バリアフリー基本構想の策定（地区別）	三鷹市					■		6	—	—	
備考																				

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
											小計						204			
											合計						204			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

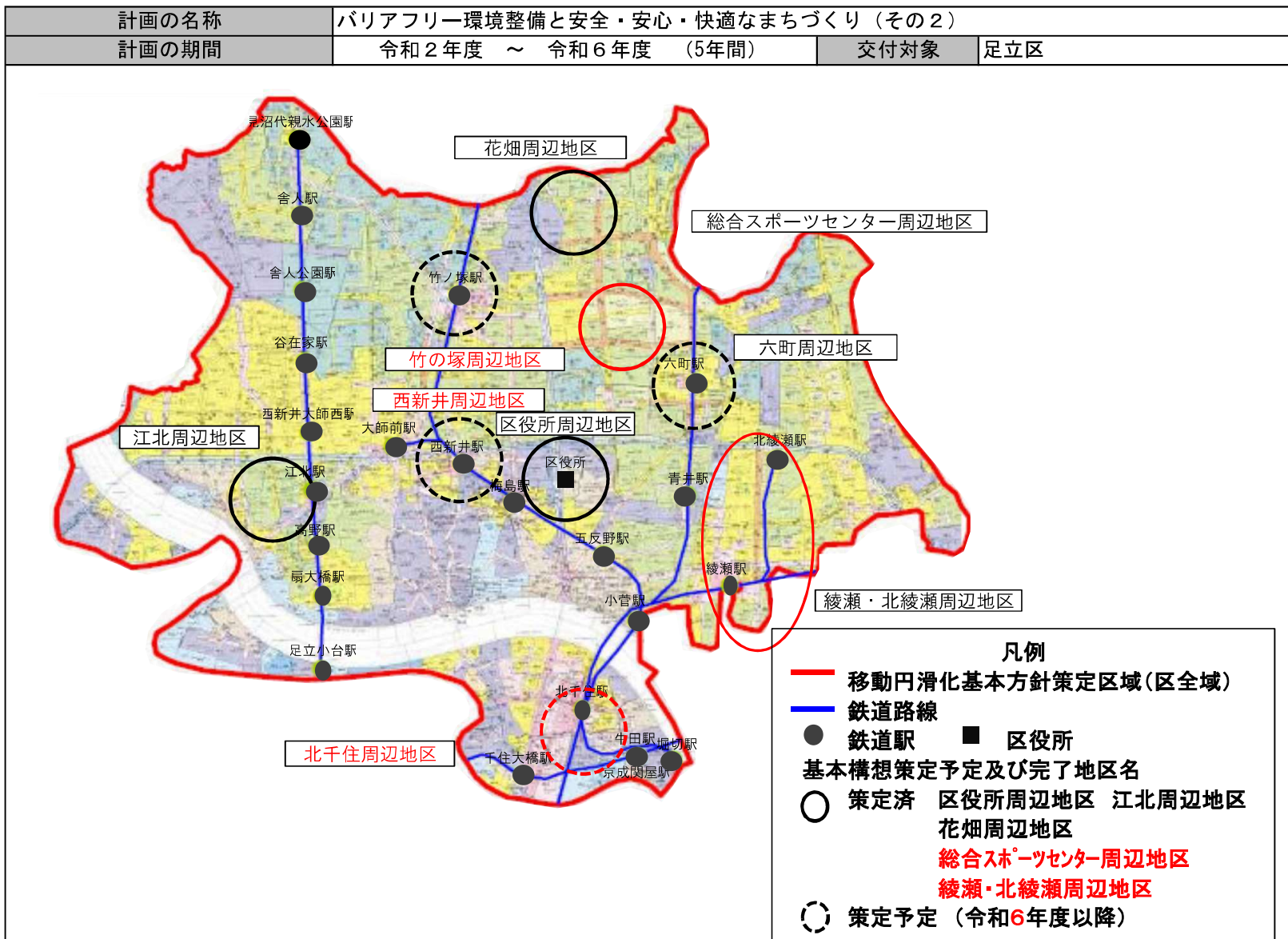
	R02	R03	R04		
配分額 (a)	4	6	4		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	4	6	4		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	4	6	2		
翌年度繰越額 (f)	0	0	2		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： バリアフリー環境整備と安全・安心・快適なまちづくり（その2）

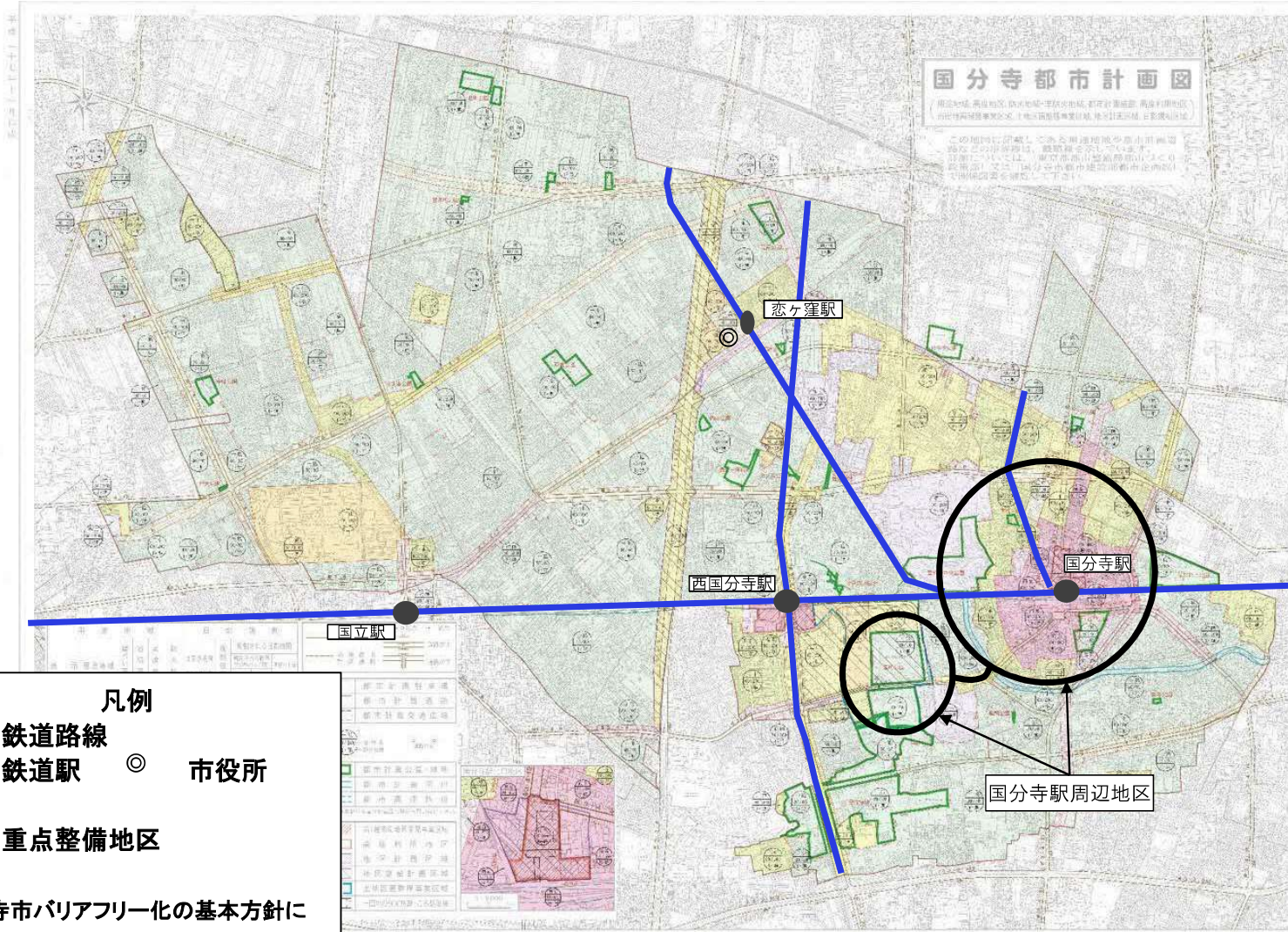
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標の設定に当たって、地域の現状分析が十分に行われている。	○
I. 目標の妥当性 計画の目標が、地域の課題を解決する上で適切なものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 計画の目標の評価指標が、定量的指標によって適切に設定されている。	○
I. 目標の妥当性 計画の目標が各種の上位計画と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容が重点的、効果的かつ効率的に行われるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等により、相乗効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 住民、民間事業者等との合意形成の下、進められている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 目標実現に向けた機運の醸成が図られている。	○

(参考図面)



(参考図面)

計画の名称	バリアフリー環境整備と安全・安心・快適なまちづくり（その2）		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和3年度（2年間）	交付対象	国分寺市



凡例

- 鉄道路線 (Railway line)
- 鉄道駅 (Railway station)
- ◎ 市役所 (City hall)
- 重点整備地区 (Key improvement area)

※国分寺市バリアフリー化の基本方針については、市域全体を対象としている。

(参考図面)

計画の名称	バリアフリー環境整備と安全・安心・快適なまちづくり（その2）		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和6年度（1年間）	交付対象	三鷹市

